

科目ナンバリング		U-LAS22 20004 SO48							
授業科目名 <英訳>	フランス語II B F2157 Intermediate French B				担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 井上 卓也			
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語及びフランス語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	水5		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
<p>&lt;フランス文化・社会の現在&gt;  時事フランス語の教材や人文・社会科学分野のテキストを用いて、これまでに培ったフランス語の技能を向上させ、より発展的な読解力・表現力を養う。テキストの内容を理解するだけでなく、文型や語彙を内在化・自動化させるための口頭練習(音読やシャドーイング、パターンプラクティス)にも十分な時間を割いて取り組む。  各課の内容への導入として文化史、社会史的な視点から解説を行うほか、関連動画を視聴することもある。フランス語の運用能力を全般的に高めるとともに、フランス語の「先」にある世界を知ること、授業の目的である。</p>									
[到達目標]									
1) 辞書を用いて、ある程度長い文を読みこなすことができるようになる。 2) 生きたフランス語のテキストに触れながら、基本的な文法や語彙の知識を固め、みずから運用できるようになる。 3) 自然なイントネーションやリズム、発音で文章を朗読することができる。 4) フランス文化・社会のアクチュアルな問題について理解を深める。									
[授業計画と内容]									
(授業計画と内容)									
第11週までは時事フランス語の読本(『12テーマでわかるフランス事情[三訂版]』)を教科書として用いる。 以降の週では、受講者の関心に応じてテーマ別のテキストを抜粋で読む。取り上げる候補としては、たとえばSeuil社の『...に語る』シリーズ(ジャック・ル・ゴフ『こどもたちに語る中世』、ターハル・ベンジュルーン『娘に語るラシスム』、ミシェル・ヴィヴィオルカ『若者に語る反ユダヤ主義』、ミリアム・ルヴォー・ダロンヌ『こどもたちに語る政治』、ジュヌヴィエーヴ・ドレジ・ド・パルスヴァル『孫たちに語る家族』、レジス・ドゥブレ『娘に語る共和国』など)が考えられる。 毎週のはじめに、指定した予習箇所の内容理解を問う小テストを実施する。小テストには、すでに扱った箇所のディクテ(口述された文の書き取り)を含める。 授業ではテキストの解説をするほか、重点的に取り上げる文法項目を定め、練習をおこなう。音読やパターンプラクティスなどの口頭練習は、練習量を確保するため毎回ペアで活動する時間を設ける。									
後期は以下の通りに進める(進度、受講者の関心などに応じて変更の可能性あり)。 (1) オリエンテーション (2) 7課「国立パリ・オペラ座バレエ団」 (3) 7課「国立パリ・オペラ座バレエ団」 (4) 9課「2050年、フランス語の話者7億人!？」 (5) 9課「2050年、フランス語の話者7億人!？」 (6) 10課「テレワーク、理想の働き方？」									
----- フランス語II B F2157(2)へ続く -----									

## フランス語II B F2157(2)

- (7) 10課「テレワーク、理想の働き方？」
- (8) 11課「文学大国・フランス」
- (9) 11課「文学大国・フランス」
- (10) 12課「“パリテ”の現状と課題」
- (11) 12課「“パリテ”の現状と課題」
- (12) 受講者と合意のうえ選択したテキスト
- (13) 受講者と合意のうえ選択したテキスト
- (14) 学期全体のまとめ、復習
- (15) フィードバック

### 【履修要件】

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

### 【成績評価の方法・観点】

小テスト・ディクテ40%、その他の平常点（授業内での成果物、取り組みの姿勢など）20%、期末試験40%

小テストを含め教室での活動の成果が大きな評価対象となる。配慮すべき理由のない欠席が5回以上あった場合、単位認定の対象としない。また、遅刻は小テストを受ける機会を逃すことになるので、注意すること。

### 【教科書】

岡見さえ、ミカエル・デプレ 『12テーマでわかるフランス事情[三訂版]』（白水社, 2024）ISBN: 9784560061558

### 【参考書等】

（参考書）

授業中、テキストを読みながら辞書指導をおこなう。初学者向けのもので構わないので、毎回辞書を持参すること。

### 【授業外学修（予習・復習）等】

予習：テキストの指定された箇所について、語彙・表現を調べ、内容を理解しておく（小テストの準備）

復習：教科書付属の音声資料を使って音読・シャドーイングを行い、ディクテの準備をする

### 【その他（オフィスアワー等）】

### 【主要授業科目（学部・学科名）】